

1	教職概論 AZ-Z-101	必修 2単位 前期	
Introduction of Teaching Profession			
全学科1年全組 教授 渡邊 幸雄			
授業の達成目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 今日の学校教育や教職の社会的意義を理解するとともに教職への意欲を高める。 2. 教員に求められる役割や資質能力を理解する。 3. 教員の職務内容や教員に課せられる義務を理解する。 4. チーム学校への対応の必要性について理解する。 	授業形態 <input type="radio"/> 単独 (1人が全回担当) <input type="radio"/> 複数 (1回の授業を2人以上が一緒に担当) <input type="radio"/> オムニバス (各回の担当教員が異なる場合) <input type="radio"/> クラス分け (クラス分けで担当する)	
授業の概要	<p>教職課程の意義や教員としての資質・心構えを導入とし、先輩教員の実践例などを通して、教員としての生き方を考える。次いで、現在の学校・学校教育及び教職に関する基礎的な事項について解説し、その定着を図るために数回の確認テストを行う。また、自らを振り返り、進路意識を明確にするために小レポートを課し、優れたものは共有化することによって意識の深化を図る。</p>	該当科目 <input type="radio"/> 教職科目 (工業) <input type="radio"/> 教職科目 (情報) <input type="radio"/> 地域志向科目 <input type="radio"/> 実務経験のある教員担当 <input type="radio"/> アクティブラーニング	
実務経験を活かした教育について	<p>高等学校での教員経験や宮城県教育研修センターおよび教育委員会での勤務経験のある教員が、「教職の意義及び教員の役割・職務内容 (チーム学校運営への対応を含む)」について指導する。</p>		
授業計画 (各回の学習内容等)			
	学習内容 (授業方法)	学習課題 (予習・復習)	時間(時)
第1回	教職の意義	(予習) シラバスで学習内容を確認し、教職の意義について考察する。(復習) 配布資料を確認するとともに、受講内容についての質問や意見、感想等をまとめる。	4
第2回	教員免許	(予習) 教員免許について調べる。(復習) 配布資料を確認するとともに、受講内容についての質問や意見、感想等をまとめる。	4
第3回	教員に求められる資質と心構え	(予習) 教員に求められる資質と心構えについて調べる。(復習) 配布資料を確認するとともに、受講内容についての質問や意見、感想等をまとめる。	4
第4回	教職観の変遷と教員の役割	(予習) 教職観の変遷と教員の役割について調べる。(復習) 配布資料を確認するとともに、受講内容についての質問や意見、感想等をまとめる。	4
第5回	我が国の教育制度の概要	(予習) 日本の教育制度の概要について調べる。(復習) 配布資料を確認するとともに、受講内容についての質問や意見、感想等をまとめる。	4
第6回	学校組織と教員の仕事、チーム学校への対応	(予習) 学校組織と教員の仕事及びチーム学校への対応について調べる。(復習) 配布資料を確認するとともに、受講内容についての質問や意見、感想等をまとめる。	4
第7回	教科指導・学習指導	(予習) 教科指導・学習指導について調べる。(復習) 配布資料を確認するとともに、受講内容についての質問や意見、感想等をまとめる。	4
第8回	生徒指導と教育相談	(予習) 生徒指導と教育相談について調べる。(復習) 配布資料を確認するとともに、受講内容についての質問や意見、感想等をまとめる。	4
第9回	進路指導とキャリア教育	(予習) 進路指導とキャリア教育について調べる。(復習) 配布資料を確認するとともに、受講内容についての質問や意見、感想等をまとめる。	4
第10回	特別活動と課外活動	(予習) 特別活動と課外活動について調べる。(復習) 配布資料を確認するとともに、受講内容についての質問や意見、感想等をまとめる。	4
第11回	特別支援教育	(予習) 特別支援教育について調べる。(復習) 配布資料を確認するとともに、受講内容についての質問や意見、感想等をまとめる。	4
第12回	教員の勤務と服務義務	(予習) 教員の勤務と服務義務について調べる。(復習) 配布資料を確認するとともに、受講内容についての質問や意見、感想等をまとめる。	4
第13回	現在の教育課題と背景	(予習) 現在の教育課題と背景について調べる。(復習) 配布資料を確認するとともに、受講内容についての質問や意見、感想等をまとめる。	4
第14回	教員と研修	(予習) 教員と研修について調べる。(復習) 配布資料を確認するとともに、受講内容についての質問や意見、感想等をまとめる。	4
第15回	まとめと試験	(予習) 関連するキーワードについて調べる。(復習) これまでの授業の配付資料などを確認する。	4
教科書・参考書等			
自作資料 「教員をめざそう!」「魅力ある教員を求めて」等の文部科学省発行の諸資料			
成績評価方法・基準			
試験・確認テスト (60%)、小レポート (40%)			

2	教育心理学 AZ-Z-102	必修 2単位 前期・集中	
	Educational Psychology		
全学科1年全組 教授 小川 和久			
授業の達成目標		授業形態	
1. 発達と学習に関する概念及び基礎理論を理解し、教育実践の場で応用できる力を養う。 2. 生涯発達の観点から、各段階での特徴、発達課題、発達過程に及ぼす要因、認知発達等の具体的内容について理解する。 3. 主体的学習、学習意欲、学習評価のあり方について、発達を踏まえた学習を支える指導の基礎となる考え方を理解する。		<input type="radio"/> 単独 (1人が全回担当)	
		<input type="radio"/> 複数 (1回の授業を2人以上が一組に担当)	
		<input type="radio"/> オムニバス (各回の担当教員が異なる場合)	
		<input type="radio"/> クラス分け (クラス分けで担当する)	
授業の概要		該当科目	
発達と学習の領域を中心に、子どもたちの教育を考える上で必要となる心理学の知見を解説する。また、教育現場への応用を念頭に置きながら、具体的な教育場面と関連づけて問題を提示していく。		<input type="radio"/> 教職科目 (工業)	
		<input type="radio"/> 教職科目 (情報)	
		地域志向科目	
実務経験を活かした教育について		実務経験のある教員担当	
		アクティブラーニング	
授業計画 (各回の学習内容等)			
	学習内容 (授業方法)	学習課題 (予習・復習)	時間(時)
第1回	教育心理学とは何か	予習として、シラバスを読んで授業概要を理解してくる。ノート・配付資料を整理して復習する。	4
第2回	発達とは (1) : 生涯発達、発達段階	「生涯発達」「発達段階」について調べて予習する。ノート・配付資料を整理して復習する。	4
第3回	発達とは (2) : 認知発達	ピアジェの「認知発達」について調べて予習する。ノート・配付資料を整理して復習する。	4
第4回	発達とは (3) : 自己 (他者) 理解の発達、社会性の発達	「自己 (他者) 理解の発達」「社会性の発達」について調べて予習する。ノート・配付資料を整理して復習する。	4
第5回	発達とは (4) : 遺伝と環境、発達障害	発達における「遺伝的・環境的要因」「発達障害」について調べて予習する。ノート・配付資料を整理して復習する。	4
第6回	児童期における心理的特性と発達課題	児童期における発達上の「心理的特性と発達課題」について調べて予習する。ノート・配付資料を整理して復習する。	4
第7回	青年期における心理的特性と発達課題	青年期における発達上の「心理的特性と発達課題」について調べて予習する。ノート・配付資料を整理して復習する。	4
第8回	学習の理論 (1) : 連合説	学習理論における「連合説」について調べて予習する。ノート・配付資料を整理して復習する。	4
第9回	学習の理論 (2) : 観察学習、モデリング	「観察学習」「モデリング」について調べて予習する。ノート・配付資料を整理して復習する。	4
第10回	学習の意欲 (1) : 動機づけ	「動機づけ」について調べて予習する。ノート・配付資料を整理して復習する。	4
第11回	学習の意欲 (2) : 自己効力感	「自己効力感」について調べて予習する。ノート・配付資料を整理して復習する。	4
第12回	学習の過程 (1) : 記憶のメカニズム	人間の「記憶のメカニズム」について調べて予習する。ノート・配付資料を整理して復習する。	4
第13回	学習の過程 (2) : 主体的学習、メタ認知能力	「主体的学習」「メタ認知能力」について調べて予習する。ノート・配付資料を整理して復習する。	4
第14回	学習の評価と測定	学習の「評価」「測定」について調べて予習する。ノート・配付資料を整理して復習する。	4
第15回	まとめ : 「生きる力」「資質・能力」を育む	予習として、これまでの関連キーワードを整理してくる。ノート・配付資料をもとに、すべての学習内容を復習して試験に備える。	4
教科書・参考書等			
自作資料 教育心理学 I : 発達と学習 (渡部雅之・豊田弘司共著、サイエンス社)			
成績評価方法・基準			
定期試験 (50%)、小テストと実習レポート (50%)			

3	教育制度論 AZ-Z-201	必修 2単位 後期	
Educational Systems			
全学科1年全組 准教授 中島 夏子			
授業の達成目標	1. 教育に関する社会的／制度的事項についての基礎知識を修得する。 2. 教育に関する社会的／制度的事項に関する事例を基礎知識を基に客観的に理解する。 3. 教育に関する社会的／制度的事項の課題を見つけ、必要な対応について考える。	授業形態	
		<input type="radio"/> 単独 <small>(1人が全回担当)</small>	
		<input type="radio"/> 複数 <small>(1回の授業を2人以上が一緒に担当)</small>	
		<input type="radio"/> オムニバス <small>(各回の担当教員が異なる場合)</small>	
		<input type="radio"/> クラス分け <small>(クラス分けで担当する)</small>	
授業の概要	本講義は、教育に関する社会的／制度的事項とその課題について解説する。各授業では、教育制度に関する基礎的な知識や教育政策の動向について、関連資料の読解やグループワークを通して、理解を深める。その中には、現代の学校において必要不可欠な地域との連携及び学校安全への対応も含まれる。最後には、教育の動向に関するテーマを各自が設定し、それについてのレポートの作成と、授業内での発表を行う。	該当科目	
		<input type="radio"/> 教職科目 (工業)	
		<input type="radio"/> 教職科目 (情報)	
		<input type="radio"/> 地域志向科目	
		<input type="radio"/> 実務経験のある教員担当	
実務経験を活かした教育について		<input type="radio"/> アクティブラーニング	
授業計画 (各回の学習内容等)			
	学習内容 (授業方法)	学習課題 (予習・復習)	時間(時)
第1回	教育制度とは何か	教育制度について調べて予習する。配付資料などを確認して復習する。	4
第2回	公教育の原理及び理念	公教育の原理や理念について調べて予習する。配付資料などを確認して復習する。	4
第3回	教育制度を支える組織 (教育行政)	教育行政制度の問題について調べて予習する。配付資料などを確認して復習する。	4
第4回	教育法規 (日本国憲法)	日本国憲法の教育関連条文について調べて予習する。配付資料などを確認して復習する。	4
第5回	教育法規 (教育基本法)	教育基本法について調べて予習する。配付資料などを確認して復習する。	4
第6回	教育法規 (学校教育法)	学校教育法について調べて予習する。配付資料などを確認して復習する。	4
第7回	まとめと中間試験	第1回から6回までの授業の配付資料を参考に授業を振り返り、要点をまとめておく。間違えた箇所の配付資料を確認して復習する。	4
第8回	学校と子どもを巡る社会の状況とその課題	学校と子どもを巡る社会の状況についての新聞記事などを探す。配付資料などを確認して復習する。	4
第9回	近年の教育政策の動向	近年の教育政策の動向についての新聞記事などを探す。配付資料などを確認して復習する。	4
第10回	諸外国の教育	諸外国の教育について調べて予習する。配付資料などを確認して復習する。	4
第11回	学校と地域との連携	学校と地との連携について調べて予習する。配付資料などを確認して復習する。	4
第12回	学校安全への対応	学校安全について調べて予習する。配付資料などを確認して復習する。	4
第13回	教育政策・制度に関する課題報告会 (準備)	教育制度における課題についての報告書を作成し、グループワークに備える。配付資料などを確認して復習する。	4
第14回	教育政策・制度に関する課題報告会	教育制度における課題についての報告書を作成し、グループワークに備える。配付資料などを確認して復習する。	4
第15回	まとめ	関連するキーワードについて調べて予習する。これまでの授業の配付資料などを確認して復習する。	4
教科書・参考書等			
自作資料 教育小六法、その他、授業内で随時紹介する。			
成績評価方法・基準			
各授業で課すレポート (50%)、中間試験 (20%)、課題報告書およびその発表内容 (30%) *各授業で課すレポートは、授業中にフィードバックを行う。また、授業中やオフィスアワーにて課題報告書の添削指導を行う。 *中間試験は、その場で採点し、解説を行う。			

4	特別支援教育 AZ-Z-202	必修 1単位 後期・集中	
Special Needs Education			
全学科 1年全組 非常勤講師 野口 和人			
授業の達成目標	1. 共生社会の実現に向けた基盤をなすという特別支援教育の大きな目標を理解する。 2. 特別の支援を必要とする生徒の特性及び心身の発達を理解し、そのための教育課程や支援の方法を理解する。 3. 特別の教育的ニーズのある生徒への対応を理解する。	授業形態	
		○ 単独 (1人が全回担当)	
		○ 複数 (1回の授業を2人以上が一緒に担当)	
		○ オムニバス (各回の担当教員が異なる場合)	
		○ クラス分け (クラス分けで担当する)	
授業の概要	我が国におけるインクルーシブ教育システムと様々な教育的ニーズのある生徒を支援する方法について、できる限り具体的な事例に即して講述する。	該当科目	
		○ 教職科目 (工業)	
		○ 教職科目 (情報)	
		○ 地域志向科目	
実務経験を活かした教育について		○ 実務経験のある教員担当	
		○ アクティブラーニング	
授業計画 (各回の学習内容等)			
	学習内容 (授業方法)	学習課題 (予習・復習)	時間(時)
第1回	特殊教育から特別支援教育へ：我が国におけるインクルーシブ教育システム	特別支援教育について調べて予習する。配布資料などを確認して復習する。	1
第2回	特別支援教育における教育課程：特別な教育課程の編成と自立活動	特別支援教育における教育課程について調べて予習する。配布資料などを確認して復習する。	1
第3回	特別支援教育を支える仕組み①：関係諸機関・家庭・地域等との連携と特別支援教育コーディネーターの役割	特別支援教育を支える仕組みについて調べて予習する。配布資料などを確認して復習する。	1
第4回	特別支援教育を支える仕組み②：個別の指導計画・個別の教育支援計画の作成、合理的配慮	個別の計画や合理的配慮について調べて予習する。配布資料などを確認して復習する。	1
第5回	知的障害等のある生徒の理解と支援	知的障害について調べて予習する。配布資料などを確認して復習する。	1
第6回	発達障害のある生徒の理解と支援	発達障害について調べて予習する。配布資料などを確認して復習する。	1
第7回	ICTを活用した支援、将来の社会生活に向けた支援	支援の方法について調べて予習する。配布資料などを確認して復習する。	1
第8回	様々な事由に基づく教育的ニーズ及び支援ニーズへの対応、試験	これまでの配布資料を読み直して試験に備える。試験で間違えた所を中心に復習する。	1
第9回			
第10回			
第11回			
第12回			
第13回			
第14回			
第15回			
教科書・参考書等	テキスト：特に指定しない。必要な資料等は授業の際に配布する。 特別支援学校学習指導要領 小学部・中学部 (平成29年4月公示 文部科学省) 特別支援学校高等部学習指導要領 (平成31年2月公示 文部科学省)		
成績評価方法・基準	授業における討論等への参加 (30%)、試験 (70%)		

5	教育課程論 AZ-Z-301	必修 2単位 前期	
Curriculum Theory			
全学科 2年全組 准教授 中島 夏子			
授業の達成目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 学校教育において教育課程が有する意義を理解する。 2. 教育課程編成の原理及び方法を理解する。 3. カリキュラム・マネジメントの意義を理解する。 	授業形態	
		○ 単独 (1人が全回担当)	
		○ 複数 (1回の授業を2人以上が一緒に担当)	
		○ オムニバス (各回の担当教員が異なる場合)	
		○ クラス分け (クラス分けで担当する)	
授業の概要	<p>本講義は教育課程とその編成方法について学ぶことを目的とする。各授業では、学習指導要領の位置づけやその内容、教育課程の編成の原理、カリキュラム・マネジメント等の教育課程の基礎的な知識を、関連資料の読解やグループワーク等を通して理解する。また、指導計画を立てることを通じて、指導計画と教育課程の編成の仕方を修得する。</p>	該当科目	
		○ 教職科目 (工業)	
		○ 教職科目 (情報)	
		○ 地域志向科目	
		○ 実務経験のある教員担当	
実務経験を活かした教育について		○ アクティブラーニング	
授業計画 (各回の学習内容等)			
	学習内容 (授業方法)	学習課題 (予習・復習)	時間(時)
第1回	教育課程の社会における役割と機能	教育課程について調べて予習する。配付資料などを確認して復習する。	4
第2回	教育課程の基本構造	教育課程の基本構造について調べて予習する。配付資料などを確認して復習する。	4
第3回	学習指導要領の位置づけと教育課程編成の目的	学習指導要領の制度について調べて予習する。配付資料などを確認して復習する。	4
第4回	学校における教育課程と指導計画	学校における教育課程と授業の指導案について調べて予習する。配付資料などを確認して復習する。	4
第5回	教育課程編成の原理	教育課程編成の原理について調べて予習する。配付資料などを確認して復習する。	4
第6回	学習指導要領の変遷	教育課程の歴史について調べて予習する。配付資料などを確認して復習する。	4
第7回	現行学習指導要領の特質	学習指導要領の特質について調べて予習する。配付資料などを確認して復習する。	4
第8回	教科横断的な教育課程とカリキュラム・マネジメント	カリキュラム・マネジメントについて調べて予習する。配付資料などを確認して復習する。	4
第9回	教育評価とカリキュラム評価	教育評価とカリキュラム評価について調べて予習する。配付資料などを確認して復習する。	4
第10回	中間まとめと試験	これまでに学んだ事を配付資料を中心に復習する。	4
第11回	教育課程の編成の方法	教育課程の編成方法について調べて予習する。配付資料などを確認して復習する。	4
第12回	指導計画を編成する (グループ活動)	指導計画を作成し、グループ活動に備える。	4
第13回	指導計画を編成する (グループ報告会)	グループの報告の準備を行う。報告を踏まえて教育課程の修正を行う。	4
第14回	指導計画を編成する (個人活動)	グループ活動で学んだ事を振り返り、教育課程を作成する。	4
第15回	まとめ	これまでに学んだ事を配付資料を中心に復習する。	4
教科書・参考書等			
<p>自作資料 高等学校学習指導要領 (平成30年3月公示 文部科学省) 高等学校学習指導要領解説 総則編 (平成30年7月 文部科学省) ワークで学ぶ教育課程論 (尾崎博美・井藤元編著、2018年、ナカニシヤ出版)</p>			
成績評価方法・基準			
<p>各授業で課すレポート (40%)、中間試験 (30%)、指導計画およびその発表内容 (30%) *各授業で課すレポートは、授業中にフィードバックを行う。 *中間試験は、その場で採点し、解説を行う。 *指導計画については、添削を行う。</p>			

6	教育原理 AZ-Z-302	必修 2単位 前期・集中	
	Principles of Education		
全学科 2年全組 非常勤講師 八鍬 友広			
授業の達成目標		授業形態	
1. 人間がなぜ教育を必要としているのか、人間形成全体における教育の位置、教育の目的や目標に関する考え方の教育の基本的概念や思想を理解する。 2. 学校教育の成り立ちと国家や社会との関係等の教育の歴史を理解する。		<input type="radio"/> 単独 (1人が全回担当)	
		<input type="radio"/> 複数 (1回の授業を2人以上が一緒に担当)	
		<input type="radio"/> オムニバス (各回の担当教員が異なる場合)	
		<input type="radio"/> クラス分け (クラス分けで担当する)	
授業の概要		該当科目	
教育の理念とその歴史的な成り立ちについて講ずる。人間にとっての教育の不可欠性、人間形成全体における学校教育の位置、学校教育の歴史的成り立ち、日本の学校教育の歴史的な特質やその今日的課題について講ずる。		<input type="radio"/> 教職科目 (工業)	
		<input type="radio"/> 教職科目 (情報)	
		<input type="checkbox"/> 地域志向科目	
実務経験を活かした教育について		<input type="checkbox"/> 実務経験のある教員担当	
		<input type="checkbox"/> アクティブラーニング	
授業計画 (各回の学習内容等)			
	学習内容 (授業方法)	学習課題 (予習・復習)	時間(時)
第1回	教育とは何か	予習としてシラバスを読んでくる。配付資料などを確認して復習する。	4
第2回	人間はなぜ教育をするのか	人間と教育について調べて予習する。配付資料などを確認して復習する。	4
第3回	認知的道具と人間の拡張	認知的道具について調べて予習する。配付資料などを確認して復習する。	4
第4回	教育は人間をつくれるか① (人為的教育の限界)	人為的教育の限界について調べて予習する。配付資料などを確認して復習する。	4
第5回	教育は人間をつくれるか② (自己家畜化論と自然な人間形成)	自己家畜化論について調べて予習する。配付資料などを確認して復習する。	4
第6回	教育の目的① (教育の目的に関する小レポート作成)	第1回～第5回の授業を振り返り、要点をまとめておく。配付資料などを確認して復習する。	4
第7回	教育の目的② (ルソーの教育思想と教育の目的)	ルソーの教育思想について調べて予習する。配付資料などを確認して復習する。	4
第8回	子どもと教育① (フィリップ・アリエスの「子どもの誕生」論)	フィリップ・アリエスの「子どもの誕生」について調べて予習する。配付資料などを確認して復習する。	4
第9回	子どもと教育② (正統的周辺参加から学校教育へ)	正統的周辺参加について調べて予習する。配付資料などを確認して復習する。	4
第10回	学校と教育	学校と教育について教育制度論等で学んだ事を中心に予習する。配付資料などを確認して復習する。	4
第11回	義務教育とはなにか	義務教育について教育制度論等で学んだ事を中心に予習する。配付資料などを確認して復習する。	4
第12回	「教室」の創出	学校の歴史について教育制度論等で学んだ事を中心に予習する。関連するキーワードについて調べて予習する。配付資料などを確認して復習する。	4
第13回	国家と教育	教育における国家のあり方について教育制度論等で学んだ事を中心に予習する。配付資料などを確認して復習する。	4
第14回	教育と平等	教育における平等について教育制度論等で学んだ事を中心に予習する。配付資料などを確認して復習する。	4
第15回	現代社会とリテラシー	リテラシーについて調べて予習する。これまでの授業の配付資料などを確認して復習する。	4
教科書・参考書等			
自作資料 高等学校学習指導要領 (平成30年3月公示 文部科学省) 文部科学省発行の諸資料			
成績評価方法・基準			
客観テスト (80%)、レポート (20%)			

7	生徒・進路指導論 AZ-Z-303		必修 2単位 前期
	Student and Career Guidance		
全学科 2年全組 教 授 渡邊 幸雄			
授業の達成目標			授業形態
1. 生徒指導及び進路指導の意義や原理を理解する。 2. 生徒指導及び進路指導を進めていくために必要な知識・技能や素養を身につける。 3. 個別課題を抱える生徒への生徒指導及び進路指導のあり方を理解する。			<input type="radio"/> 単独 <small>(1人が全回担当)</small>
			<input type="radio"/> 複数 <small>(1回の授業を2人以上が一緒に担当)</small>
			<input type="radio"/> オムニバス <small>(各回の担当教員が異なる場合)</small>
			<input type="radio"/> クラス分け <small>(クラス分けで担当する)</small>
授業の概要			該当科目
学校における生徒指導及び進路指導の意義や課題を正しく、切実なものとしてとらえるためには、現実的な視点が大切である。授業では多くの具体的な課題を取り上げ、考えることや実感する場面を設定し、小レポートを課す。また、青年期にある自らの内面を過去から現在にわたって振り返りながら学ぶ。			<input type="radio"/> 教職科目 (工業)
			<input type="radio"/> 教職科目 (情報)
			<input type="radio"/> 地域志向科目
実務経験を活かした教育について			<input type="radio"/> 実務経験のある教員担当
高等学校での教員経験のある教員が、「生徒指導の理論及び方法」と「進路指導及びキャリア教育の理論の及び方法」について指導する。			<input type="radio"/> アクティブラーニング
授業計画 (各回の学習内容等)			
	学習内容 (授業方法)	学習課題 (予習・復習)	時間(時)
第1回	生徒指導の意義と原理	(予習)シラバスで学習内容を確認し、生徒指導の意義と原理について調べる。(復習)配布資料を確認するとともに受講内容についての質問や意見、感想等をまとめる。	4
第2回	生徒理解と指導方法 (集団指導・個別指導も含む)	(予習)生徒理解と指導方法について調べる。(復習)配布資料を確認するとともに受講内容についての質問や意見、感想等をまとめる。	4
第3回	生徒指導の進め方 (青年期の特性を踏まえて)	(予習)生徒指導の進め方について調べる。(復習)配布資料を確認するとともに受講内容についての質問や意見、感想等をまとめる。	4
第4回	生徒指導上の課題とその対応:不登校 (グループワーク)	(予習)不登校について調べる。(復習)配布資料を確認するとともに受講内容についての質問や意見、感想等をまとめる。	4
第5回	生徒指導上の課題とその対応:いじめ問題(グループワーク)	(予習)いじめ問題について調べる。(復習)配布資料を確認するとともに受講内容についての質問や意見、感想等をまとめる。	4
第6回	生徒指導上の課題とその対応:体罰と懲戒(グループワーク)	(予習)体罰と懲戒について調べる。(復習)配布資料を確認するとともに受講内容についての質問や意見、感想等をまとめる。	4
第7回	生徒指導上の課題とその対応:ネット関連の問題、少年非行 (グループワーク)	(予習)ネット関連の問題および少年非行について調べる。(復習)配布資料を確認するとともに受講内容についての質問や意見、感想等をまとめる。	4
第8回	生徒指導上の課題とその対応:児童虐待 (グループワーク)	(予習)児童虐待について調べる。(復習)配布資料を確認するとともに受講内容についての質問や意見、感想等をまとめる。	4
第9回	教育相談と生徒指導・教育相談の体制	(予習)教育相談と生徒指導・教育相談の体制について調べる。(復習)配布資料を確認するとともに受講内容についての質問や意見、感想等をまとめる。	4
第10回	進路指導・キャリア教育の意義と理論	(予習)進路指導・キャリア教育の意義と理論について調べる。(復習)配布資料を確認するとともに受講内容についての質問や意見、感想等をまとめる。	4
第11回	ガイダンスとしての進路指導	(予習)ガイダンスとしての進路指導について調べる。(復習)配布資料を確認するとともに受講内容についての質問や意見、感想等をまとめる。	4
第12回	カウンセリングとしての進路指導	(予習)カウンセリングとしての進路指導について調べる。(復習)配布資料を確認するとともに受講内容についての質問や意見、感想等をまとめる。	4
第13回	進学指導と就職指導の状況	(予習)進学指導と就職指導の状況について調べる。(復習)配布資料を確認するとともに受講内容についての質問や意見、感想等をまとめる。	4
第14回	進路指導・キャリア教育の指導体制	(予習)進路指導・キャリア教育の指導体制について調べる。(復習)配布資料を確認するとともに受講内容についての質問や意見、感想等をまとめる。	4
第15回	まとめと試験	(予習)関連するキーワードについて調べる。 (復習)これまでの授業の配付資料などを確認する。	4
教科書・参考書等			
自作資料 生徒指導提要 (平成22年3月 文部科学省) 生徒指導リーフ (国立教育政策研究所) 生徒指導・進路指導 (黒川雅子・山田知代編著、学事出版)			
成績評価方法・基準			
試験・確認テスト (50%)、小レポート (30%)、グループワーク発表内容 (20%)			

8	特別活動及び総合的な学習の時間の指導法 AZ-Z-401		必修 2単位 後期
	Methods of Extra-Curricular Activities and Periods of Integrated Studies		
全学科 2年全組 教 授 渡邊 幸雄			
授業の達成目標		授業形態	
1. 特別活動の意義を理解し、その特質を踏まえた指導の在り方を理解する。 2. 総合的な学習の時間の意義と原理を理解する。 3. 総合的な学習の時間の指導計画の作成、指導及び評価の仕方を理解する。		<input type="radio"/> 単独 (1人が全回担当)	
		<input type="radio"/> 複数 (1回の授業を2人以上が一組に担当)	
		<input type="radio"/> オムニバス (各回の担当教員が異なる場合)	
		<input type="radio"/> クラス分け (クラス分けで担当する)	
授業の概要		該当科目	
特別活動の意義と目標・内容及び課題について解説するとともに、学生が自己の経験を振り返りながら考察する機会を確保する。また、総合的な学習の時間の意義や指導計画の作成、具体的な指導の仕方、評価等について解説する。いずれもグループワーク等の集団活動の場を設定し、実践的に学ぶことができるようにする。		<input type="radio"/> 教職科目 (工業)	
		<input type="radio"/> 教職科目 (情報)	
		<input type="radio"/> 地域志向科目	
実務経験を活かした教育について		<input type="radio"/> 実務経験のある教員担当	
高等学校での教員経験のある教員が、「総合的な学習の時間の指導法」と「特別活動の指導法」について指導する。		<input type="radio"/> アクティブラーニング	
授業計画 (各回の学習内容等)			
	学習内容 (授業方法)	学習課題 (予習・復習)	時間(時)
第1回	授業のねらいと進め方	(予習)シラバスで学習内容を確認し、特別活動及び総合的な学習について調べる。(復習)配布資料を確認するとともに、受講内容についての質問や意見、感想等をまとめる。	4
第2回	特別活動の意義と目標	(予習)特別活動の意義と目標について調べる。(復習)配布資料を確認するとともに、受講内容についての質問や意見、感想等をまとめる。	4
第3回	特別活動の内容① (ホームルーム活動)	(予習)ホームルーム活動について調べる。(復習)配布資料を確認するとともに、受講内容についての質問や意見、感想等をまとめる。	4
第4回	特別活動の内容② (生徒会活動、学校行事)	(予習)生徒会活動及び学校行事について調べる。(復習)配布資料を確認するとともに、受講内容についての質問や意見、感想等をまとめる。	4
第5回	部活動	(予習)部活動について調べる。(復習)配布資料を確認するとともに、受講内容についての質問や意見、感想等をまとめる。	4
第6回	特別活動等の課題 (グループワーク)	(予習)特別活動等の課題について各グループで調べる。(復習)配布資料を確認するとともに、受講内容についての質問や意見、感想等をまとめる。	4
第7回	特別活動の指導法① (ホームルーム活動：グループワーク)	(予習)ホームルーム活動の指導法について各グループで調べる。(復習)配布資料を確認するとともに、受講内容についての質問や意見、感想等をまとめる。	4
第8回	特別活動の指導法② (ボランティア活動：グループワーク)	(予習)ボランティア活動の指導法について各グループで調べる。(復習)配布資料を確認するとともに、受講内容についての質問や意見、感想等をまとめる。	4
第9回	総合的な学習の時間の意義と原理 (工業高校での「課題研究」についても含む)	(予習)総合的な学習の時間の意義と原理について調べる。(復習)配布資料を確認するとともに、受講内容についての質問や意見、感想等をまとめる。	4
第10回	総合的な学習の時間の指導計画	(予習)総合的な学習の時間の指導計画について調べる。(復習)配布資料を確認するとともに、受講内容についての質問や意見、感想等をまとめる。	4
第11回	総合的な学習の時間の指導と評価	(予習)総合的な学習の時間の指導と評価について調べる。(復習)配布資料を確認するとともに、受講内容についての質問や意見、感想等をまとめる。	4
第12回	総合的な学習の時間の指導計画作成 (グループワーク)	(予習)総合的な学習の時間の指導計画について各グループで調べる。(復習)配布資料を確認するとともに、受講内容についての質問や意見、感想等をまとめる。	4
第13回	グループ発表と相互評価 (グループワーク)	(予習)グループ発表の準備をする。(復習)配布資料を確認するとともに、受講内容についての質問や意見、感想等をまとめる。	4
第14回	総合的な学習の時間の指導計画の修正(グループワーク)	(予習)グループ発表の評価や修正点を検討する。(復習)配布資料を確認するとともに、受講内容についての質問や意見、感想等をまとめる。	4
第15回	まとめと試験	(予習)関連するキーワードについて調べる。 (復習)これまでの授業の配付資料などを確認する。	4
教科書・参考書等			
自作資料 高等学校学習指導要領解説 特別活動編 (平成30年7月 文部科学省) 高等学校学習指導要領解説 総合的な探究の時間編 (平成30年7月 文部科学省) 今、求められる力を高める総合的な学習の時間の展開 (高等学校編) (平成25年7月 文部科学省)			
成績評価方法・基準			
試験 (40%)、小レポート (30%)、発表内容 (30%)			

9	教育相談 AZ-Z-402	必修 2単位 後期・集中	
School Counseling			
全学科 2年全組 非常勤講師 久保 順也			
授業の達成目標	授業形態		
1. 学校教育における教育相談の概要について理解する。 2. 児童生徒の問題行動や不適応行動の概要とそれらの行動に気づくための視点を習得する。 3. 教育相談の具体的な進め方を学び、校内外の関係者との連携のあり方を理解する。	<input type="radio"/> 単独 (1人が全回担当) <input type="radio"/> 複数 (1回の授業を2人以上が一緒に担当) <input type="radio"/> オムニバス (各回の担当教員が異なる場合) <input type="radio"/> クラス分け (クラス分けで担当する)		
授業の概要	該当科目		
教育相談に必要な態度・姿勢・技法を習得するため、カウンセリングに関する理論、基礎知識、具体的な対応方法を、不適応の事例を紹介しながら概観していく。スクールカウンセラー等の専門家の職務の実際や、関係者との連携のあり方など、学校現場の実際場面を想定した内容を提示していく。	<input type="radio"/> 教職科目 (工業) <input type="radio"/> 教職科目 (情報) <input type="checkbox"/> 地域志向科目 <input type="checkbox"/> 実務経験のある教員担当 <input type="checkbox"/> アクティブラーニング		
実務経験を活かした教育について			
授業計画 (各回の学習内容等)			
	学習内容 (授業方法)	学習課題 (予習・復習)	時間(時)
第1回	教育相談とは	教育相談について調べて予習する。配付資料などを確認して復習する。	4
第2回	教育相談の技術と進め方	教育相談の技術と進め方について調べて予習する。配付資料などを確認して復習する。	4
第3回	カウンセリングの基礎：行動療法	教育相談の技術と進め方について調べて予習する。配付資料などを確認して復習する。	4
第4回	カウンセリングの基礎：クライアント中心療法	クライアント中心療法について調べて予習する。配付資料などを確認して復習する。	4
第5回	カウンセリングの基礎：ブリーフセラピー	ブリーフセラピーについて調べて予習する。配付資料などを確認して復習する。	4
第6回	カウンセリングの基礎：家族療法的アプローチ	家族療法について調べて予習する。配付資料などを確認して復習する。	4
第7回	不適応行動とその対応：ストレス、うつ	ストレス、うつについて調べて予習する。配付資料などを確認して復習する。	4
第8回	不適応行動とその対応：不登校、ひきこもり	不登校、ひきこもりについて調べて予習する。配付資料などを確認して復習する。	4
第9回	不適応行動とその対応：いじめ、非行	いじめ、非行について調べて予習する。配付資料などを確認して復習する。	4
第10回	不適応行動とその対応：発達障害	発達障害について調べて予習する。配付資料などを確認して復習する。	4
第11回	教育相談の実際：校内外の体制	教育相談における校内外の専門家・専門機関について調べて予習する。配付資料などを確認して復習する。	4
第12回	教育相談の実際：担任教師	教育相談における担任教師の役割について調べて予習する。配付資料などを確認して復習する。	4
第13回	教育相談の実際：保護者	教育相談における保護者との連携について調べて予習する。配付資料などを確認して復習する。	4
第14回	教育相談の実際：スクールカウンセラー	スクールカウンセリングについて調べて予習する。配付資料などを確認して復習する。	4
第15回	まとめと試験	予習としてこれまでの授業の配付資料などを確認しておく。間違えた箇所について復習する。	4
教科書・参考書等			
自作資料 適宜紹介、また教室で配布。			
成績評価方法・基準			
毎回授業終了後に提出するミニレポート (50%)、試験 (50%)			

10	教育方法学 AZ-Z-403	必修 2単位 後期・集中	
	Method of Education		
全学科 2年全組 非常勤講師 森山 賢一 非常勤講師 萩野 元彦			
授業の達成目標		授業形態	
1. これからの社会を担う子供たちに求められる資質・能力を育成するために必要な教育の方法を理解する。 2. 教育の指導技術を理解し、身に付ける。 3. 情報機器及び教材の活用に関する基礎的な知識・技能を身に付ける。		<input type="checkbox"/> 単独 (1人が全回担当) <input type="checkbox"/> 複数 (1回の授業を2人以上が一緒に担当) <input checked="" type="checkbox"/> オムニバス (各回の担当教員が異なる場合) <input type="checkbox"/> クラス分け (クラス分けで担当する)	
授業の概要		該当科目	
授業の組み立て方や指導方法について、学習や指導の理論を中心に学ぶ。そして、その理論を踏まえた学習指導案の作成と授業の中での教員の指導の方法について、実践の視点から学ぶ。また、情報機器を活用した授業やその研究の仕方について体験的に学んでいく。		<input type="checkbox"/> 教職科目 (工業) <input type="checkbox"/> 教職科目 (情報) <input type="checkbox"/> 地域志向科目 <input type="checkbox"/> 実務経験のある教員担当 <input type="checkbox"/> アクティブラーニング	
実務経験を活かした教育について			
高等学校での教員経験のある教員が、「教育の方法及び技術 (情報機器及び教材の活用を含む。)」について指導する。(萩野元彦)			
授業計画 (各回の学習内容等)			
	学習内容 (授業方法)	学習課題 (予習・復習)	時間(時)
第1回	ガイダンス：本講義と教育方法学の概要 (森山)	予習として、シラバスを読んで授業概要を理解してくる。ノート・配付資料を整理して復習する。	4
第2回	授業とは何か：わかる授業とわからない授業 (森山)	「わかる授業」「わからない授業」について自分の意見をまとめて予習する。ノート・配付資料を整理して復習する。	4
第3回	授業の組み立て方：指導目標、学習様式、対話的深い学びのための教材開発 (森山)	「指導目標」「学習様式」「対話的深い学びのための教材開発」について調べて予習する。ノート・配付資料を整理して復習する。	4
第4回	授業の理論と指導方法①：学習理論と学習指導法 (森山)	「学習理論」「学習指導法」について調べて予習する。ノート・配付資料を整理して復習する。	4
第5回	授業の理論と指導方法②：教材開発と授業構想 (森山)	「教材開発」「授業構想」について調べて予習する。ノート・配付資料を整理して復習する。	4
第6回	学習指導案①：作業の手順と留意点 (萩野)	学習指導案の作業手順について調べて予習する。ノート・配付資料を整理して復習する。	4
第7回	学習指導案②：学習指導案の作成 (萩野)	学習指導案の作成上の留意点について調べて予習する。ノート・配付資料を整理して復習する。	4
第8回	指導内容と学習評価 (萩野)	「指導内容」「学習評価」について調べて予習する。ノート・配付資料を整理して復習する。	4
第9回	授業の実際①：教師の話し方 (発問と応答) (萩野)	「教師の話し方 (発問と応答)」について調べて予習する。ノート・配付資料を整理して復習する。	4
第10回	授業の実際②：板書とノート指導 (萩野)	「板書」「ノート指導」について調べて予習する。ノート・配付資料を整理して復習する。	4
第11回	授業での情報機器の活用①情報機器の活用が求められる社会的背景 (萩野)	情報機器の活用における「社会的背景」について調べて予習する。ノート・配付資料を整理して復習する。	4
第12回	授業での情報機器の活用②：学習指導 (萩野)	情報機器を活用した「学習指導」について調べて予習する。ノート・配付資料を整理して復習する。	4
第13回	授業での情報機器の活用③：教材開発と研究授業 (萩野)	情報機器を活用した「教材開発」「研究授業」について調べて予習する。ノート・配付資料を整理して復習する。	4
第14回	授業での情報機器の活用④：学級/学校運営 (萩野)	情報機器を活用した「学級/学校運営」について調べて予習する。ノート・配付資料を整理して復習する。	4
第15回	教育の方法及び技術のまとめ (萩野)	予習として、これまでの関連キーワードを整理してくる。ノート・配付資料をもとに、すべての学習内容を復習して試験に備える。	4
教科書・参考書等			
自作教材 教職必修 教育の方法と技術 (山下省蔵著、教育課程研究会) 教育実践学 (教育実践学会編、大学教育出版) 高等学校学習指導要領 (平成30年3月公示 文部科学省)			
成績評価方法・基準			
定期試験 (50%)、小テストと実習レポート (50%)			

11	教育実習 AZ-Z-701	必修 2単位 前期・集中
Teaching Practice		
全学科4年全組 教授 加藤 順一 准教授 中島 夏子		
授業の達成目標 1. 教育実習生としての基本的な態度や教職員等との適切な関わり方ができること。 2. 指導案を作成し、生徒への教科・科目・単元のねらいを踏まえた適切な学習指導ができること。 3. 生徒の発達段階に応じた適切な生徒指導ができること。 4. 授業観察や教材研究、授業実施後の反省を適切に行うことができること。	授業形態 <input type="checkbox"/> 単独 (1人が全回担当) <input type="checkbox"/> 複数 (1回の授業を2人以上が一纏に担当) <input type="checkbox"/> オムニバス (各回の担当教員が異なる場合) <input type="checkbox"/> クラス分け (クラス分けで担当する)	
授業の概要 実習校の教員による講話を受講し、学校の課題と生徒の実態、学校運営の在り方などについて理解する。授業参観と教材研究を通して、授業の在り方を学び、実践のための指導案を作成し、授業の準備をする。授業実践を行い、学習指導の実践について学ぶ。授業後の反省を担当教員の指導助言のもとに行い、授業力の向上に生かす。	該当科目 <input type="checkbox"/> 教職科目 (工業) <input type="checkbox"/> 教職科目 (情報) 地域志向科目	
実務経験を活かした教育について 高等学校教諭としての勤務経験を持つ教員が、巡回指導を行うほか、実践的な指導を行う。(加藤順一)	<input type="checkbox"/> 実務経験のある教員担当 <input type="checkbox"/> アクティブラーニング	
授業計画 (各回の学習内容等)		
1. 教育実習校の理解と観察 ・教育実習校の学校経営方針及び特色ある教育活動並びにそれらを実施するための組織体制について講話などを通して学ぶ。 ・生徒との関わりを通して、その実態や課題を把握する。 ・指導教員等の実施する授業を視点を持って観察し、事実即して記録する。 2. 学習指導 ・学習指導要領及び生徒の実態等を踏まえた適切な学習指導案を作成する。 ・学習指導に必要な基礎的技術 (話法・板書・学習形態・授業展開・環境構成など) を用いて授業を行う。 ・適切な場面で情報機器を活用する。 3. 学級経営 ・学級担任の役割と職務内容を理解する。 ・教科指導以外の様々な場面で生徒と関わる。 ・学級担任や教科担任等の補助的な役割を担う。		
教科書・参考書等		
テキスト：『教育実習完璧ガイド』（宮崎猛・小泉博明編著、小学館） 参考書・参考資料等：実習校提供の諸資料、教科書及び高等学校学習指導要領		
成績評価方法・基準		
実習校からの成績評価、実習日誌の記載内容、巡回指導担当教員からの評価を総合的に判断して評価する。 教育実習の巡回指導並びに実習後に個別にフィードバックを行う。		

12	教育実習事前・事後指導 AZ-Z-702	必修 1単位 前期・集中	
	Pre and Post Guidance for Teaching Practice		
全学科4年全組 教授 加藤 順一 准教授 中島 夏子			
授業の達成目標		授業形態	
事前指導では、教育実習に臨む上で必要となる事柄の理解（教育実習の目的と内容等）、実習生にふさわしい心構えと態度の育成、学習指導と生活指導に関する指導技術の基礎的能力の向上を目指す。事後指導では、教育実習での経験を振り返り、成果と課題を確認する。		<input type="checkbox"/> 単独 (1人が全回担当) <input type="checkbox"/> 複数 (1回の授業を2人以上が一纏に担当) <input type="checkbox"/> オムニバス (各回の担当教員が異なる場合) <input type="checkbox"/> クラス分け (クラス分けで担当する)	
授業の概要		該当科目	
3年前期から4年前・後期にかけて実施する。3年次後期には教育実習の意義と目的の理解と授業実践に向けた指導案の作成と模擬授業を行う。また、学校現場での一日体験実習では、授業観察や授業実践、現職教員の講話を通して、教育実習に向けた意識と技術の向上を目指す。4年次には、教育実習直前の指導と直後の振り返りのための指導を行う。		<input type="checkbox"/> 教職科目（工業） <input type="checkbox"/> 教職科目（情報） <input type="checkbox"/> 地域志向科目	
実務経験を活かした教育について		<input type="checkbox"/> 実務経験のある教員担当 <input type="checkbox"/> アクティブラーニング	
高等学校教諭としての勤務経験を持つ教員が、模擬授業の指導を行う。（加藤順一）			
授業計画（各回の学習内容等）			
	学習内容（授業方法）	学習課題（予習・復習）	時間(時)
第1回	教育実習の意義と目的	予習としてシラバスを読んでくる。配付資料等を確認して復習する。	1
第2回	高等学校の現状と授業観察、実習日誌の書き方	予習として、『教育実習完璧ガイド』の「教育実習が始まる前に」「実習中の心得」「実習日誌はこう書こう」を読んでくる。配付資料やテキストを確認して復習する。	1
第3回	高等学校での一日体験実習（学校の現状と課題についての講話）	予習として、一日実習の手引きを読んでくる。復習として、講話で学んだ事について実習日誌にまとめる。	1
第4回	高等学校での一日体験実習（SHR 授業観察）	予習として、一日実習の手引きを読んでくる。復習として、授業観察で学んだ事について実習日誌にまとめる。	1
第5回	高等学校での一日体験実習（教科授業観察）	予習として、一日実習の手引きを読んでくる。復習として、授業観察で学んだ事について実習日誌にまとめる。	1
第6回	高等学校での一日体験実習（授業実践）	予習として、授業実践に向けた指導案の作成と模擬授業をグループごとに行う。復習として、授業実践で学んだ事について実習日誌にまとめる。	1
第7回	高等学校での一日体験実習（振り返り）	一日実習で学んだ事について実習日誌にまとめる。	1
第8回	指導案の作成と模擬授業（導入の工夫）	予習として、導入に注目した指導案の作成を行なう。復習として、模擬授業で指摘された点を指導案に反映させる。	1
第9回	指導案の作成と模擬授業（板書の工夫）	予習として、板書に注目した指導案の作成を行なう。復習として、模擬授業で指摘された点を指導案に反映させる。	1
第10回	指導案の作成と模擬授業（展開と発問の工夫）	予習として、展開と発問に注目した指導案の作成を行なう。復習として、模擬授業で指摘された点を指導案に反映させる。	1
第11回	指導案の作成と模擬授業（まとめの工夫）	予習として、まとめに注目した指導案の作成を行なう。復習として、模擬授業で指摘された点を指導案に反映させる。	1
第12回	指導案の作成と模擬授業（評価の工夫）	予習として、評価に注目した指導案の作成を行なう。復習として、模擬授業で指摘された点を指導案に反映させる。	1
第13回	教育実習を行う上での留意点	予習として、『教育実習完璧ガイド』を全て読んでくる。配付資料等を確認して復習する。	1
第14回	教育実習の振り返り	教育実習の振り返りを行い、レポートを作成する。	1
教科書・参考書等			
『教育実習完璧ガイド』（宮崎猛・小泉博明編著、小学館） 高等学校提供の諸資料、工業科等の教科書及び高等学校学習指導要領			
成績評価方法・基準			
体験学習、模擬授業の内容、実践結果及び諸レポートを総合的に評価する。 学生間で課題を評価し合う機会を設け、次回授業時に全体に対しフィードバックを行う。			

13	教職実践演習 (高) AZ-Z-801		必修 2単位 後期・集中
	Practical Seminar for Teaching Profession		
全学科4年全組		教授 小川 和久 教授 加藤 順一 教授 片山 文雄	准教授 中島 夏子
授業の達成目標		授業形態	
<p>学生が身に付けた資質能力が、教員として最小限必要な資質能力として有機的に統合され、教育現場において必要とされる実践的能力となっていることを確認し定着させる。以下の諸点にとくに留意する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 自らの専門的課題を自覚した上で、教科に関する知識と技能を充実させる。 2. 教職に関する知識と指導技術を向上させる。 3. 社会性や人間性を豊かにし、使命感と教育愛・教育的情熱をもって教育に取り組もうとする態度を身に付ける。 		<input type="radio"/> 単独 (1人が全回担当) <input type="radio"/> 複数 (1回の授業を2人以上が一纏めに担当) <input type="radio"/> オムニバス (各回の担当教員が異なる場合) <input type="radio"/> クラス分け (クラス分けで担当する)	
授業の概要		該当科目	
<p>教科及び教職に関する科目の履修状況を踏まえ、教員として必要な知識技能を修得したことを確認する。「教職のための学習ポートフォリオ」に基づいた学修の振り返りによって、4つの事項(①使命感等②社会性等③生徒理解等④教科指導力等に関する事項)に関して、個別の課題を明確にし、その克服を目指す。その方法として、講義の他にグループ討論や模擬授業、学校現場の見学・調査などを行う。実施に当たっては、学校との連携を密にするとともに、専門教科担当者を含めた指導体制の下で指導し、評価を行う。</p>		<input type="radio"/> 教職科目(工業) <input type="radio"/> 教職科目(情報) <input type="radio"/> 地域志向科目 <input type="radio"/> 実務経験のある教員担当 <input type="radio"/> アクティブラーニング	
実務経験を活かした教育について		<p>高等学校での教員経験や宮城県総合教育センターおよび教育委員会での勤務経験のある教員が、教育現場において必要とされる実践的能力の指導を行う。(加藤順一)</p>	
授業計画 (各回の学習内容等)			
	学習内容 (授業方法)	学習課題 (予習・復習)	時間(時)
第1回	「教職実践演習」の意義と目的 教職に関する科目の補完ポイントの確認(グループ討論)	シラバスで学習内容を確認し、本講義の意義と目的について予習しておく。「教職のための学習ポートフォリオ」を用いて教職課程を振り返り、各自の補完ポイントを確認する。配布資料を確認して復習する。	4
第2回	教員という仕事について(グループ討論)	教員という仕事について、これまでの教職課程で学んだ事を総括しておく。配布資料を確認するとともに、受講内容についての質問や意見、感想等をレポートにまとめる形で復習する。	4
第3回	教科指導の在り方について(グループ討論)	教科指導について、これまでの教職課程で学んだ事を総括しておく。配布資料を確認するとともに、受講内容についての質問や意見、感想等をレポートにまとめる形で復習する。	4
第4回	指導案の作成と模擬授業	教育実習の研究授業の指導案等を見直しておく。配布資料を確認するとともに、受講内容についての質問や意見、感想等をレポートにまとめる形で復習する。	4
第5回	学校現場の見学・調査に向けた準備	見学する学校現場の特徴について調べて予習する。配布資料を確認して復習する。	4
第6回	学校現場の見学・調査に向けた準備(指導計画の作成)	指導案の原案を各自で作成しておく。配布資料を確認して復習する。	4
第7回	学校現場の見学・調査(現職教員講話)	見学する学校現場の特徴について調べて予習する。配布資料を確認して復習する。	4
第8回	学校現場の見学・調査(授業参観)	見学する学校現場の特徴について調べて予習する。配布資料を確認して復習する。	4
第9回	学校現場の見学・調査(授業実践)	見学する学校現場の特徴について調べて予習する。配布資料を確認して復習する。	4
第10回	学校現場の見学・調査(振り返り)	見学する学校現場の特徴について調べて予習する。配布資料を確認するとともに、受講内容についての質問や意見、感想等をレポートにまとめる形で復習する。	4
第11回	教育の現代的課題①危機管理・心のケアに関する事例研究	危機管理の在り方について、これまで教職課程で学んだ事を総括して振り返り、それを参考に予習しておく。配布資料を確認して復習する。配布資料を確認して復習する。	4
第12回	教育の現代的課題②安全・防災教育に関する事例研究	安全・防災教育の在り方について、これまで教職課程で学んだ事を総括して振り返り、それを参考に予習しておく。配布資料を確認して復習する。配布資料を確認して復習する。	4
第13回	教育の現代的課題③問題行動の解決に関する事例研究	問題行動の解決の在り方について、これまで教職課程で学んだ事を総括して振り返り、それを参考に予習しておく。配布資料を確認して復習する。	4
第14回	教科に関する科目の補完ポイントの確認(学科教員との面談)と教職課程の総括	教科に関する科目の成績や「教職のための学習ポートフォリオ」を用いて教職課程を振り返り、各自の補完ポイントを確認する。面談での指摘された改善点を中心に教科に関する科目について復習する。	4
教科書・参考書等			
<p>テキスト 自作資料「教職実践演習」、「教職のための学習ポートフォリオ」 参考書・参考資料 適宜提示</p>			
成績評価方法・基準			
<p>グループ討論・発表内容・レポート等により総合的に評価する。 学生間で課題を評価し合う機会を設け、次回授業時に全体に対しフィードバックを行う。</p>			

14	工業科教育法A ECSZ-Z-501	必修 2単位 前期	
	Teaching Method of Engineering A		
全学科3年全組 非常勤講師 萩野 元彦			
授業の達成目標		授業形態	
1. 工業教育に係る教育方法の知識や指導法を理解する。 2. 実際の教育の場において知識や指導法を適切に適応できるようにする。 3. 学習指導案作成と付随する知識・指導技術が修得できるようにする。		<input type="radio"/> 単独 <small>(1人が全回担当)</small> <input type="radio"/> 複数 <small>(1回の授業を2人以上が一纏に担当)</small> <input type="radio"/> オムニバス <small>(各回の担当教員が異なる場合)</small> <input type="radio"/> クラス分け <small>(クラス分けで担当する)</small>	
授業の概要		該当科目	
高等学校における職業教育は多様であり、工業分野も産業構造の変化に伴い多様化している。工業分野に従事する技術者を育成する指導者としての使命感を自覚させ、学習指導要領に基づき、工業教育の役割・概要、教育機器の活用等を授業の中心にして、実践的態度の育成を目指す講義内容とする。		<input type="radio"/> 教職科目（工業） <input type="radio"/> 教職科目（情報） <input type="radio"/> 地域志向科目	
実務経験を活かした教育について		<input type="radio"/> 実務経験のある教員担当	
高等学校での教員経験のある教員が、「実際の教育の場における知識や指導法」について指導する。		<input type="radio"/> アクティブラーニング	
授業計画（各回の学習内容等）			
	学習内容（授業方法）	学習課題（予習・復習）	時間(時)
第1回	授業の進め方、工業教育の役割	シラバスで学習内容を確認し、工業教育の役割について考察するなど予習する。配布資料を確認するとともに、受講内容についての質問や意見、感想等をまとめる形で復習する。	4
第2回	工業教育の教育課程	工業教育の教育課程について調べて予習する。配布資料を確認するとともに、受講内容についての質問や意見、感想等をまとめる形で復習する。	4
第3回	学習指導要領1：改訂の経緯、趣旨	学習指導要領の改訂の経緯、趣旨について調べて予習する。配布資料を確認するとともに、受講内容についての質問や意見、感想等をまとめる形で復習する。	4
第4回	学習指導要領2：目標	学習指導要領の目標について調べて予習する。配布資料を確認するとともに、受講内容についての質問や意見、感想等をまとめる形で復習する。	4
第5回	学習指導要領3：共通科目「工業技術基礎」の概要	共通科目「工業技術基礎」の概要について調べて予習する。配布資料を確認するとともに、受講内容についての質問や意見、感想等をまとめる形で復習する。	4
第6回	学習指導要領4：共通科目「工業技術基礎」の指導上の留意点	共通科目「工業技術基礎」の指導上の留意点について調べて予習する。配布資料を確認するとともに、受講内容についての質問や意見、感想等をまとめる形で復習する。	4
第7回	工業の背景となる領域と科目構成	工業の背景となる領域と科目構成について調べて予習する。配布資料を確認するとともに、受講内容についての質問や意見、感想等をまとめる形で復習する。	4
第8回	情報機器及び教材の効果的な活用法	情報機器及び教材の効果的な活用法について調べて予習する。配布資料を確認するとともに、受講内容についての質問や意見、感想等をまとめる形で復習する。	4
第9回	担当科目選定	各自が担当する科目を決めるために、各科目について調べて予習する。配布資料を確認するとともに、受講内容についての質問や意見、感想等をまとめる形で復習する。	4
第10回	担当科目の目標・内容のプレゼンテーション製作	担当科目の目標・内容について調べて予習する。配布資料を確認するとともに、受講内容についての質問や意見、感想等をまとめる形で復習する。	4
第11回	担当科目の目標・内容のプレゼンテーション（グループ1：発表、グループ2：参観）	プレゼンテーションの準備をするなど予習する。配布資料を確認するとともに、受講内容についての質問や意見、感想等をまとめる形で復習する。	4
第12回	担当科目の目標・内容のプレゼンテーション（グループ1：参観、グループ2：発表）	プレゼンテーションの準備をするなど予習する。配布資料を確認するとともに、プレゼンテーションについての質問や意見、感想等をまとめる形で復習する。	4
第13回	担当科目の目標・内容のプレゼンテーション相互評価と修正	プレゼンテーションに対する評価や自身の修正点等について検討するなど予習する。配布資料を確認するとともに、受講内容についての質問や意見、感想等をまとめる形で復習する。	4
第14回	各科目の発展的な学習内容 工業科教育法Aのまとめ	各科目の発展的な学習内容について調べて予習する。配布資料を確認するとともに、受講内容についての質問や意見、感想等をまとめる形で復習する。	4
教科書・参考書等			
自作教材 高等学校学習指導要領解説 工業編（平成30年7月 文部科学省）			
成績評価方法・基準			
定期試験（40%）、授業中に実施するテスト（レポート含む）と課題（60%）。			

15	工業科教育法 B ECSZ-Z-601	必修 2単位 後期	
	Teaching Method of Engineering B		
全学科 3年全組 非常勤講師 萩野 元彦			
授業の達成目標		授業形態	
1. 工業教育に係る教育方法の知識や指導法を理解する。 2. 実際の教育の場において知識や指導法を適切に適応できるようにする。 3. 学習指導案作成と付随する知識・指導技術が修得できるようにする。		<input type="radio"/> 単独 <small>(1人が全回担当)</small> <input type="checkbox"/> 複数 <small>(1回の授業を2人以上が一纏に担当)</small> <input type="checkbox"/> オムニバス <small>(各回の担当教員が異なる場合)</small> <input type="checkbox"/> クラス分け <small>(クラス分けで担当する)</small>	
授業の概要		該当科目	
高等学校における職業教育は多様であり、工業分野も産業構造の変化に伴い多様化している。講義では、工業分野に従事する工業人を育成するに相応しい教員の育成を目指し、授業法や評価について講義する。更には学習指導案の作成と模擬授業を通して教員としての実践的態度を育成するとともに、工業教育の動向についてふれ、課題を確認するとともに、工業教育の未来を展望する講義内容とする。		<input type="radio"/> 教職科目 (工業) <input type="checkbox"/> 教職科目 (情報) <input type="checkbox"/> 地域志向科目	
実務経験を活かした教育について		<input type="radio"/> 実務経験のある教員担当	
高等学校での教員経験のある教員が、「実際の教育の場における知識や指導法」について指導する。		<input type="checkbox"/> アクティブラーニング	
授業計画 (各回の学習内容等)			
	学習内容 (授業方法)	学習課題 (予習・復習)	時間(時)
第1回	工業科教育法Aの確認、工業科教育法Bの授業の進め方	シラバスで学習内容を確認するなど予習する。また、工業科教育法Aについてもあらためて確認してくる。配布資料を確認するとともに、受講内容について復習する。	4
第2回	工業教育の指導計画	工業教育の指導計画について調べて予習する。配布資料を確認するとともに、受講内容についての質問や意見、感想等をまとめる形で復習する。	4
第3回	工業教育の科目構成と教科指導	工業教育の科目構成と教科指導について調べて予習する。配布資料を確認するとともに、受講内容についての質問や意見、感想等をまとめる形で復習する。	4
第4回	工業教育の教材研究：生徒の状況、教材の位置づけ	工業教育の教材研究について調べて予習する。配布資料を確認するとともに、受講内容についての質問や意見、感想等をまとめる形で復習する。	4
第5回	工業教育の授業研究：教材の活用法、指導上の留意点	工業教育の授業研究について調べて予習する。配布資料を確認するとともに、受講内容についての質問や意見、感想等をまとめる形で復習する。	4
第6回	工業教育の授業の評価	工業教育の授業の評価について調べて予習する。配布資料を確認するとともに、受講内容についての質問や意見、感想等をまとめる形で復習する。	4
第7回	学習指導案	学習指導案について調べて予習する。配布資料を確認するとともに、受講内容についての質問や意見、感想等をまとめる形で復習する。	4
第8回	担当科目の学習指導案作成	各自の担当科目の担当箇所について調べて予習し、学習指導案作成の準備をする。配布資料を確認するとともに、受講内容についての質問や意見、感想等をまとめる形で復習する。	4
第9回	担当科目の学習指導案修正、完成	各自の担当科目の担当箇所について調べて予習し、学習指導案完成に向けて準備する。配布資料を確認するとともに、受講内容についての質問や意見、感想等をまとめる形で復習する。	4
第10回	担当科目の学習指導案による模擬授業 (グループ1：発表、グループ2：参観)	担当箇所を予習し、模擬授業の準備をする。配布資料を確認するとともに、模擬授業についての質問や意見、感想等をまとめる形で復習する。	4
第11回	担当科目の学習指導案による模擬授業 (グループ1：参観、グループ2：発表)	担当箇所を予習し、模擬授業の準備をする。配布資料を確認するとともに、模擬授業についての質問や意見、感想等をまとめる形で復習する。	4
第12回	担当科目の学習指導案による模擬授業の振り返り・相互評価	模擬授業に対する評価や自身の修正点等について検討するなど予習する。配布資料を確認するとともに、模擬授業についての質問や意見、感想等をまとめる形で復習する。	4
第13回	工業教育の実践例に学ぶ	工業教育の実践例について調べて予習する。配布資料を確認するとともに、受講内容についての質問や意見、感想等をまとめる形で復習する。	4
第14回	工業教育の課題と展望 工業科教育法Bのまとめ	工業教育の課題と展望について調べて予習する。配布資料を確認するとともに、受講内容についての質問や意見、感想等をまとめる形で復習する。	4
教科書・参考書等			
自作教材 高等学校学習指導要領解説 工業編 (平成30年7月 文部科学省)			
成績評価方法・基準			
定期試験 (40%)、授業中に実施するテスト (レポート含む) と課題 (60%)。			

16	情報科教育法A ETKZ-Z-502	必修 2単位 前期	
	Teaching Method of Information and Communication Technology A		
E・T・K 3年全組 非常勤講師 萩野 元彦			
授業の達成目標		授業形態	
1. 高等学校学習指導要領「情報」の目標と内容を理解する。 2. 共通教科情報科の「社会と情報」の知識や指導法を理解する。 3. 具体的な授業場면을想定した授業設計を行う方法を身につける。		<input type="radio"/> 単独 (1人が全回担当) <input type="checkbox"/> 複数 (1回の授業を2人以上が一纏に担当) <input type="checkbox"/> オムニバス (各回の担当教員が異なる場合) <input type="checkbox"/> クラス分け (クラス分けで担当する)	
授業の概要		該当科目	
教科「情報」の教育目標、内容、指導方法について理解し、情報科教員として必要な教材作成、授業設計・実施・評価の理論と実践を、自ら課題解決しながら行う。		<input type="checkbox"/> 教職科目 (工業) <input type="radio"/> 教職科目 (情報) <input type="checkbox"/> 地域志向科目	
実務経験を活かした教育について		<input type="radio"/> 実務経験のある教員担当	
高等学校での教員経験のある教員が「具体的な授業場면을想定した授業設計」について指導する。		<input type="checkbox"/> アクティブラーニング	
授業計画 (各回の学習内容等)			
	学習内容 (授業方法)	学習課題 (予習・復習)	時間(時)
第1回	授業ガイダンス (情報科教育法の学習内容と位置づけ)	シラバスで学習内容を確認し、情報科教育法について予習してくる。配布資料を確認するとともに、受講内容についての質問や意見、感想等をまとめる形で復習する。	4
第2回	教科「情報」設立時点の理念、背景となる領域	教科「情報」設立時点の理念及び背景となる領域について調べて予習する。配布資料を確認するとともに、受講内容についての質問や意見、感想等をまとめる形で復習する。	4
第3回	情報モラルと望ましい情報社会の構築	情報モラルと望ましい情報社会の構築について調べて予習する。配布資料を確認するとともに、受講内容についての質問や意見、感想等をまとめる形で復習する。	4
第4回	学習指導要領1：普通教科「情報」における情報教育と改訂の経緯	普通教科「情報」における情報教育と改訂の経緯について調べて予習する。配布資料を確認するとともに、受講内容についての質問や意見、感想等をまとめる形で復習する。	4
第5回	学習指導要領2：普通教科「情報」の改訂の趣旨と要点	普通教科「情報」の改訂の趣旨と要点について調べて予習する。配布資料を確認するとともに、受講内容についての質問や意見、感想等をまとめる形で復習する。	4
第6回	学習指導要領3：共通教科情報科の目標と科目編成	共通教科情報科の目標と科目編成について調べて予習する。配布資料を確認するとともに、受講内容についての質問や意見、感想等をまとめる形で復習する。	4
第7回	学習指導要領4：共通教科情報科における「社会と情報」の目標と内容	共通教科情報科における「社会と情報」の目標と内容について調べて予習する。配布資料を確認するとともに、受講内容についての質問や意見、感想等をまとめる形で復習する。	4
第8回	「社会と情報」の学習評価、担当項目選定	「社会と情報」の学習評価について調べて予習し、あわせて担当項目選定の準備をしていく。配布資料を確認するとともに、受講内容についての質問や意見、感想等をまとめる形で復習する。	4
第9回	「社会と情報」の分担項目の教材研究 (生徒の状況、教材の位置づけ)	「社会と情報」の分担項目の教材研究について調べて予習する。配布資料を確認するとともに、受講内容についての質問や意見、感想等をまとめる形で復習する。	4
第10回	「社会と情報」の分担項目の授業研究 (教材の活用法、指導上の留意点)	「社会と情報」の分担項目の授業研究について調べて予習する。配布資料を確認するとともに、受講内容についての質問や意見、感想等をまとめる形で復習する。	4
第11回	「社会と情報」の分担項目の学習指導案作成	「社会と情報」の分担項目について調べて予習し、学習指導案作成の準備をしていく。配布資料を確認するとともに、受講内容についての質問や意見、感想等をまとめる形で復習する。	4
第12回	「社会と情報」の分担項目の学習指導案に基づく模擬授業	「社会と情報」の分担項目の模擬授業の準備をするなど予習する。模擬授業についての質問や意見、感想等をまとめる形で復習する。	4
第13回	「社会と情報」の模擬授業の振り返り (相互評価と学習指導案修正)	模擬授業についての評価や自身の修正点等についても検討するなど予習する。配布資料を確認するとともに、受講内容についての質問や意見、感想等をまとめる形で復習する。	4
第14回	「社会と情報」の発展的な学習内容 情報科教育法Aのまとめ	「社会と情報」の発展的な学習内容について調べて予習する。配布資料を確認するとともに、受講内容についての質問や意見、感想等をまとめる形で復習する。	4
教科書・参考書等			
自作教材 高等学校学習指導要領解説 情報編 (平成30年7月 文部科学省)			
成績評価方法・基準			
毎時間の課題 (40%)、調べ学習ノートおよびコンピュータ実習・模擬授業 (20%)、試験 (40%)。			

17	情報科教育法 B ETKZ-Z-602	必修 2単位 後期	
	Teaching Method of Information and Communication Technology B		
E・T・K 3年全組 非常勤講師 萩野 元彦			
授業の達成目標		授業形態	
1. 共通教科情報科の「情報の科学」の知識や指導法を理解する。 2. 専門教科情報科の科目編成や各科目の目標と取り扱いを理解する。 3. 具体的な授業場면을想定した授業設計を行う方法を身につける。		<input type="radio"/> 単独 (1人が全回担当) <input type="checkbox"/> 複数 (1回の授業を2人以上が一纏に担当) <input type="checkbox"/> オムニバス (各回の担当教員が異なる場合) <input type="checkbox"/> クラス分け (クラス分けで担当する)	
授業の概要		該当科目	
共通教科情報科における「情報の科学」と専門教科情報科の教育目標、内容、指導方法について理解し、情報科教員として必要な教材作成、授業設計・実施・評価の理論と実践を、自ら課題解決しながら行う。		<input type="checkbox"/> 教職科目 (工業) <input type="checkbox"/> 教職科目 (情報) <input type="checkbox"/> 地域志向科目 <input type="checkbox"/> 実務経験のある教員担当 <input type="checkbox"/> アクティブラーニング	
実務経験を活かした教育について			
高等学校での教員経験のある教員が「具体的な授業場면을想定した授業設計」について指導する。			
授業計画 (各回の学習内容等)			
	学習内容 (授業方法)	学習課題 (予習・復習)	時間(時)
第1回	学習指導要領1: 共通教科情報科における「情報の科学」の目標と専門教科情報科の概要	シラバスで学習内容を確認するとともに、共通教科情報科における「情報の科学」の目標について予習する。配布資料を確認するとともに、受講内容について復習する。	4
第2回	学習指導要領2: 内容とその取扱い、指導上の留意点(「コンピュータと情報通信ネットワーク」)	コンピュータと情報通信ネットワークについて調べて予習する。配布資料を確認するとともに、受講内容についての質問や意見、感想等をまとめる形で復習する。	4
第3回	学習指導要領3: 内容とその取扱い、指導上の留意点(「問題解決とコンピュータの活用」)	問題解決とコンピュータの活用について調べて予習する。配布資料を確認するとともに、受講内容についての質問や意見、感想等をまとめる形で復習する。	4
第4回	学習指導要領4: 内容とその取扱い、指導上の留意点(「情報の管理と問題解決」)	情報の管理と問題解決について調べて予習する。配布資料を確認するとともに、受講内容についての質問や意見、感想等をまとめる形で復習する。	4
第5回	学習指導要領5: 内容とその取扱い、指導上の留意点(「情報技術の進展と情報モラル」)	情報技術の進展と情報モラルについて調べて予習する。配布資料を確認するとともに、受講内容についての質問や意見、感想等をまとめる形で復習する。	4
第6回	「情報の科学」の学習評価、発展的な学習内容	「情報の科学」の学習評価及び発展的な学習内容について調べて予習する。配布資料を確認するとともに、受講内容についての質問や意見、感想等をまとめる形で復習する。	4
第7回	専門教科情報科の科目編成と、各科目の目標、内容とその取扱い、指導上の留意点	専門教科情報科の科目編成と、各科目の目標等について調べて予習する。配布資料を確認するとともに、受講内容についての質問や意見、感想等をまとめる形で復習する。	4
第8回	専門教科情報科の学習評価	専門教科情報科の学習評価について調べて予習する。配布資料を確認するとともに、受講内容についての質問や意見、感想等をまとめる形で復習し、担当科目・分野を検討する。	4
第9回	情報機器及び教材の効果的な活用法、担当科目と分野の選定	情報機器及び教材の効果的な活用法について調べて予習する。配布資料を確認するとともに、受講内容についての質問や意見、感想等をまとめる形で復習する。	4
第10回	専門教科情報科科目の担当分野の教材研究・授業計画	担当分野の教材研究・授業計画について調べて予習する。配布資料を確認するとともに、受講内容についての質問や意見、感想等をまとめる形で復習する。	4
第11回	専門教科情報科科目の担当分野の学習指導案作成	担当分野の学習指導案作成にむけて準備するなど予習する。配布資料を確認するとともに、受講内容についての質問や意見、感想等をまとめる形で復習する。	4
第12回	専門教科情報科科目の担当分野の学習指導案に基づく模擬授業	模擬授業の準備をするなど予習する。配布資料を確認するとともに、模擬授業についての質問や意見、感想等をまとめる形で復習する。	4
第13回	模擬授業の振り返り・相互評価、担当分野の学習指導案修正	模擬授業に対する評価や自身の修正点等について検討するなど予習する。配布資料を確認するとともに、模擬授業についての質問や意見、感想等をまとめる形で復習する。	4
第14回	専門教科情報科科目の発展的な学習内容、情報教育の課題と展望 工業科教育法Bのまとめ	専門教科情報科科目の発展的な学習内容及び情報教育の課題と展望について調べて予習する。配布資料を確認するとともに、受講内容についての質問や意見、感想等をまとめる形で復習する。	4
教科書・参考書等			
自作教材 高等学校学習指導要領解説 情報編 (平成30年7月 文部科学省) ※授業開講時点で最新の学習指導要領解説を取り扱うこととする。			
成績評価方法・基準			
毎時間の課題 (40%)、調べ学習ノートおよびコンピュータ実習・模擬授業 (20%)、試験 (40%)。			